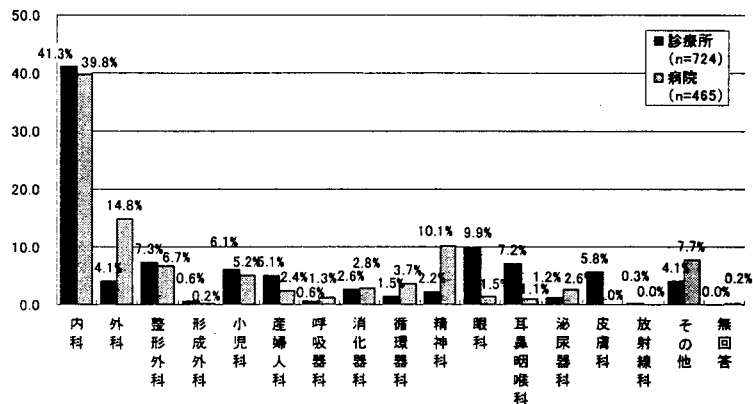


3) 医師の主たる担当診療科

図表 74 医師の主たる担当診療科



⑤診療所・病院の診療体制

図表 75 常勤の医師数・薬剤師数

(単位：人)

		平均値	標準偏差	中央値
診療所 (n=711)	医師数	1.3	1.0	1.0
	薬剤師数	0.1	0.3	0.0
病院 (n=347)	医師数	33.0	76.9	10.1
	薬剤師数	6.8	10.2	3.3

(注) 医師数・薬剤師数ともに記載のあった施設のみを集計対象とした。

図表 76 常勤の医師数・薬剤師数 (DPC 対応別、病院ベース)

(単位：人)

	医師数			薬剤師数		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=347)	33.0	76.9	10.1	6.8	10.2	3.3
DPC 対象病院 (n=74)	107.6	140.5	68.0	18.3	16.5	15.0
DPC 準備病院 (n=19)	32.8	37.6	21.3	9.0	7.0	7.0
対応していない (n=249)	11.2	14.1	8.0	3.2	2.8	2.7

※医師数・薬剤師数ともに記載のあった施設のみを集計対象とした。

⑥診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

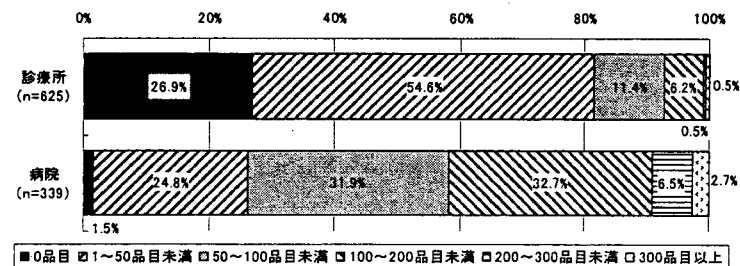
1) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

図表 77 医薬品の備蓄状況

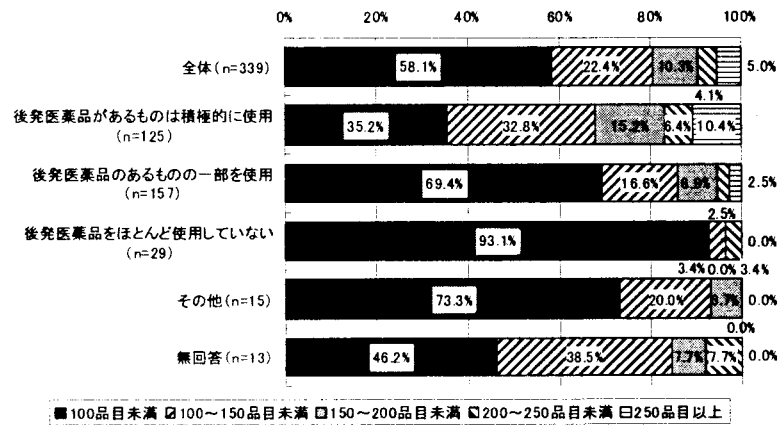
	診療所(n=625)			病院(n=339)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①医薬品備蓄品目数(品目)	121.7	155.9	67.0	813.6	460.2	700.0
②うち、後発医薬品の備蓄品目数(品目)	26.3	50.8	10.0	99.8	89.2	85.0
③ ②/①	21.6%		14.9%	12.3%		12.1%

※すべての項目に回答のあった施設を対象に集計した。

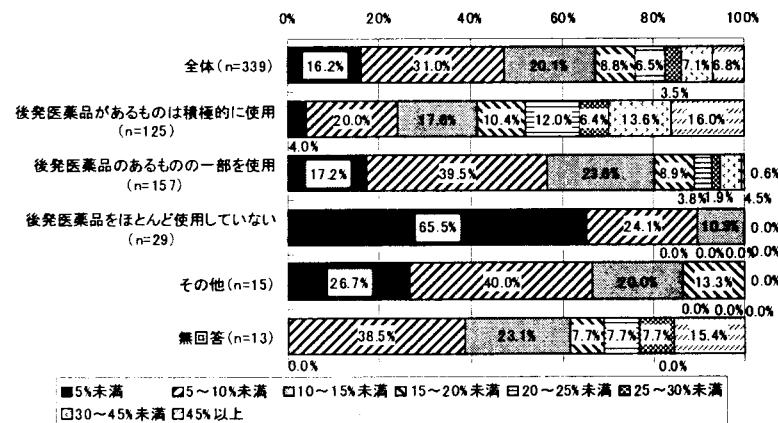
図表 78 後発医薬品の備蓄状況



図表 79 後発医薬品の備蓄状況（入院患者に対する後発医薬品の使用状況別・病院ベース）

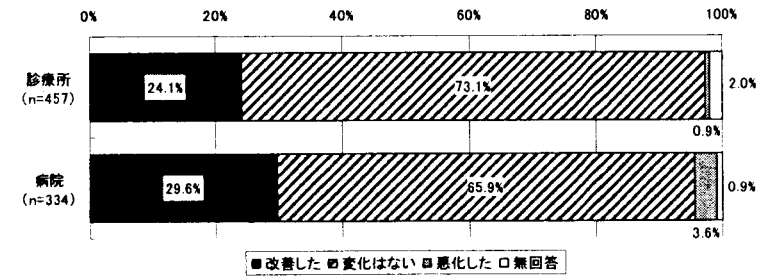


図表 80 医薬品備蓄品目数に占める後発医薬品の備蓄品目数の割合（入院患者に対する後発医薬品の使用状況別・病院ベース）



2) 後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）

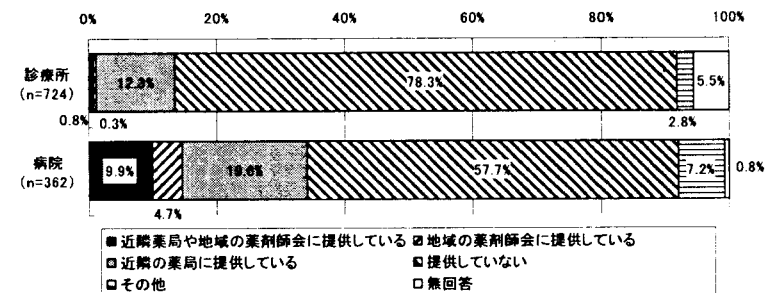
図表 81 後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）



※後発医薬品の備蓄品目数が0の施設を除いて集計した。

3) 診療所・病院で使用している後発医薬品リストの提供状況

図表 82 診療所・病院で使用している後発医薬品リストの提供状況



⑦入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

1) 1か月の平均在院患者数

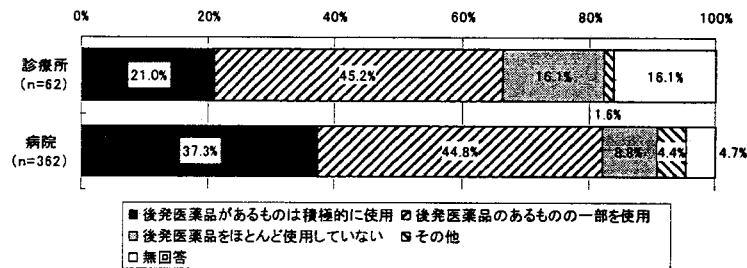
図表 83 平均在院患者数 (平成 21 年 7 月 1 か月間)

	診療所 (n=62)			病院 (n=361)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の平均在院患者数(人)	10.0	8.0	9.1	174.7	163.8	123.4

※有床診療所 80 施設のうち平成 21 年 7 月 1 か月間の平均在院患者数 0 人という施設 18 施設、病院 362 施設のうち平成 21 年 7 月 1 か月間の平均在院患者数 0 人という施設 1 施設を除いて集計した。

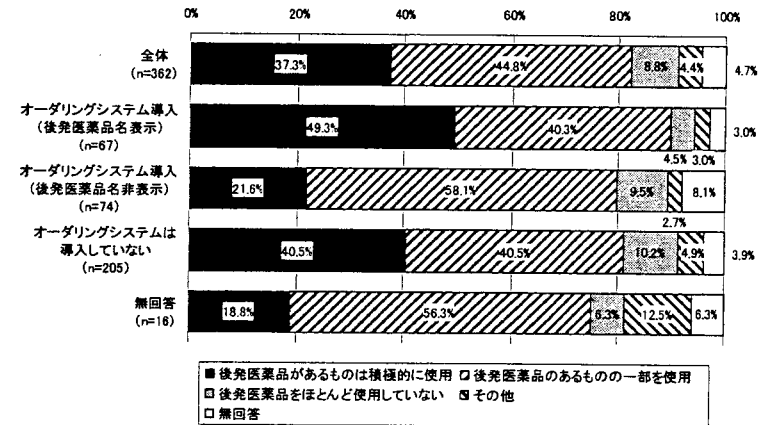
2) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

図表 84 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

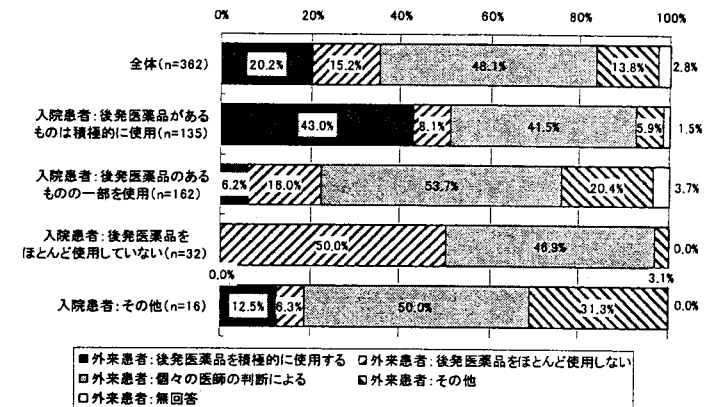


※有床診療所については、平成 21 年 7 月 1 か月間の平均在院患者数が「0」であった施設を除いて集計した。

図表 85 入院患者に対する後発医薬品の使用状況 (オーダーリングシステム導入別、病院ベース)



図表 86 入院患者に対する後発医薬品の使用状況 (外来患者に後発医薬品を院内投薬する場合の施設としての対応別、病院ベース)

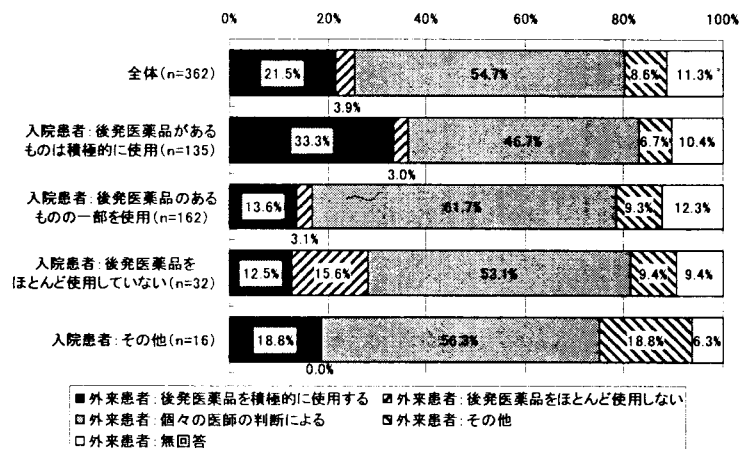


※全体には「外来患者に後発医薬品を院内投薬する場合の施設としての対応」が無回答だった 17 施設が含まれる。

※本図表は「病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応」と「病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応」のクロス集計である。

図表 87 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

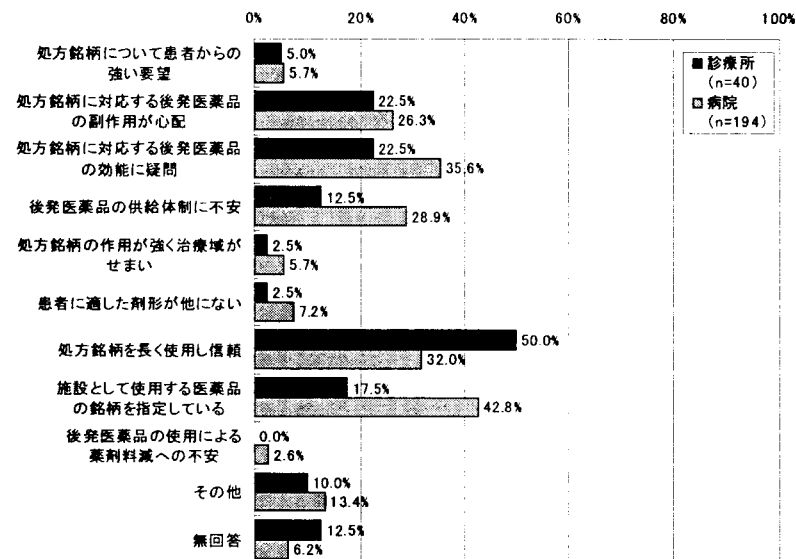
(外来患者に後発医薬品を院外処方する場合の施設としての対応別、病院ベース)



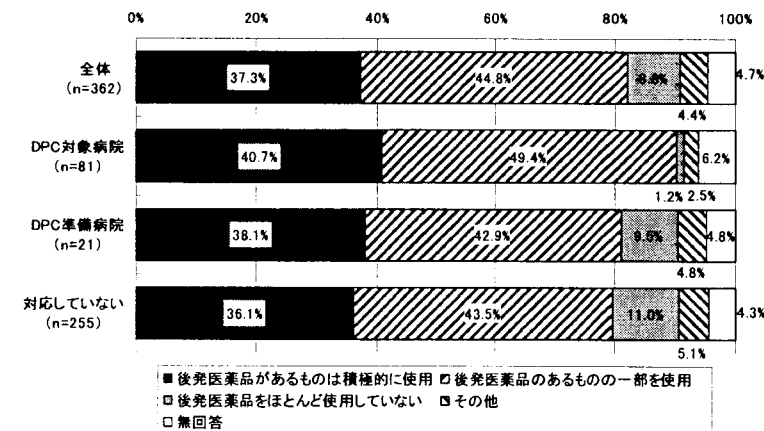
※全体には「外来患者に後発医薬品を院内投薬する場合の施設としての対応」が無回答だった17施設が含まれる。

※本図表は「病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応」と「病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応」のクロス集計である。

図表 88 入院患者に対して後発医薬品を積極的に使用しない理由 (複数回答)



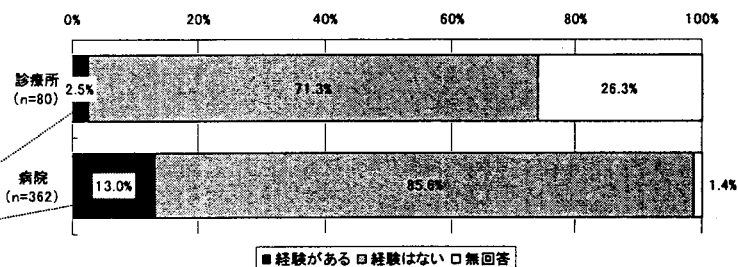
図表 89 病院における入院患者に対する後発医薬品の使用状況 (DPC対応状況別)



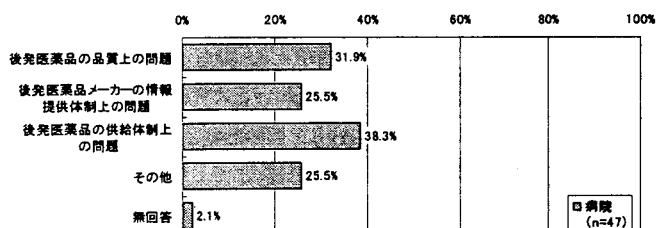
※「全体」には、「DPC対応状況」について無回答であった5施設が含まれる。

3) 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無

図表 90 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無



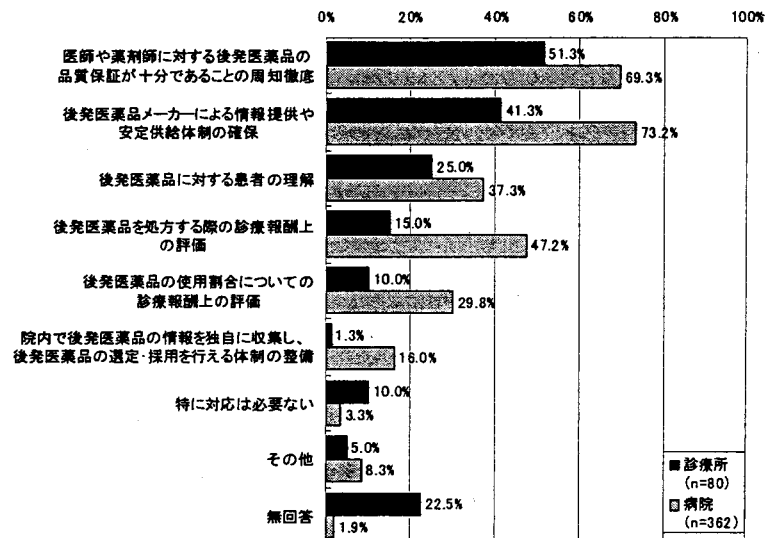
図表 91 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した施設における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答）



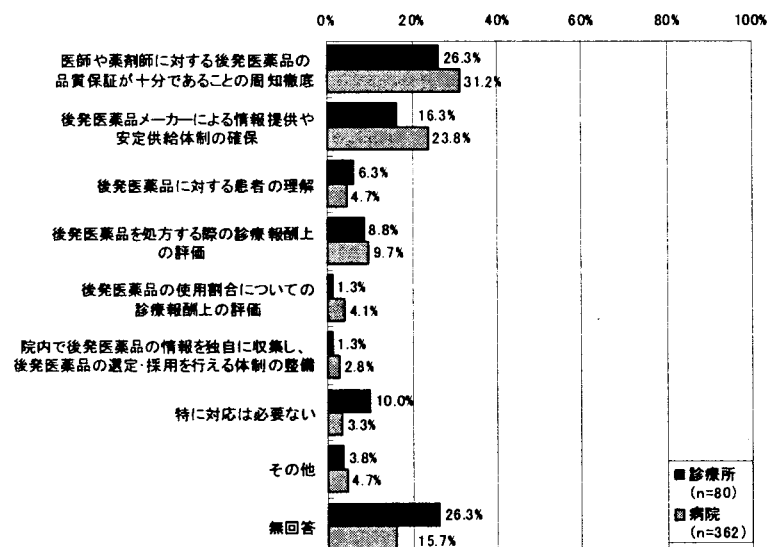
※有床診療所 2 件の回答はいずれも「後発医薬品の品質上の問題」であった。

4) 今後どのような対応が進めば施設として入院患者に対して後発医薬品の使用を進めてもよいか

図表 92 今後どのような対応が進めば施設として入院患者に対して後発医薬品の使用を進めてもよいか（複数回答）



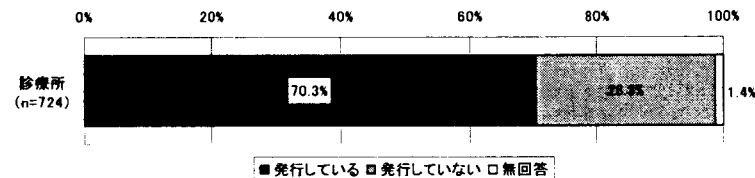
図表 93 今後どのような対応が進めば施設として入院患者に対して後発医薬品の使用を進めてもよいか（最も重要なもの、単数回答）



⑥外来患者に対する後発医薬品の使用状況等

1) 診療所における院外処方せん発行状況（平成 21 年 4 月以降）

図表 94 診療所における院外処方せん発行状況（平成 21 年 4 月以降）



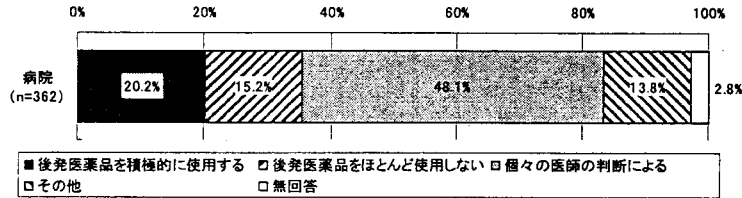
2) 外来診療の状況

図表 95 診療所・病院における外来診療の状況

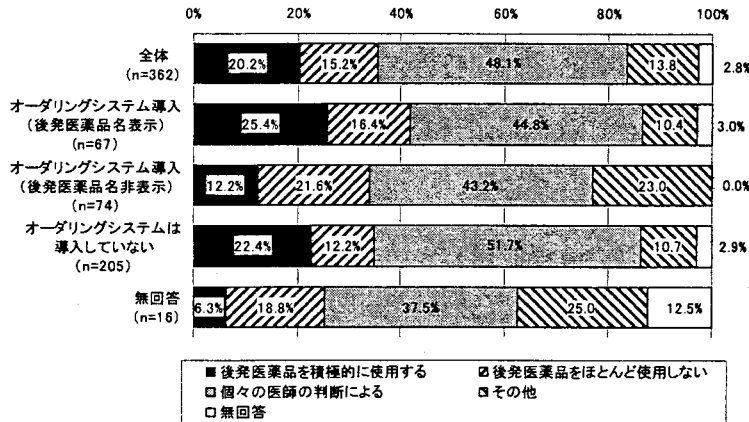
	診療所 (n=509)			病院 (n=362)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①1か月間の外来診療実日数(日)	21.5	3.3	21.5	23.3	3.0	24.0
②1か月間の外来延べ患者数(人)	1,280.0	1,336.9	1,007.0	7,328.1	9,940.7	3,567.5
③1か月間の院外処方せん発行枚数(枚)	680.8	906.3	500.0	3,280.9	5,604.3	1,493.0

3) 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応方針

図表 96 病院における後発医薬品の使用について、  
外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応

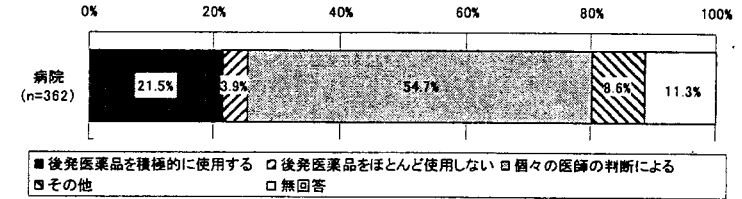


図表 97 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応（オーダーリングシステム導入別）



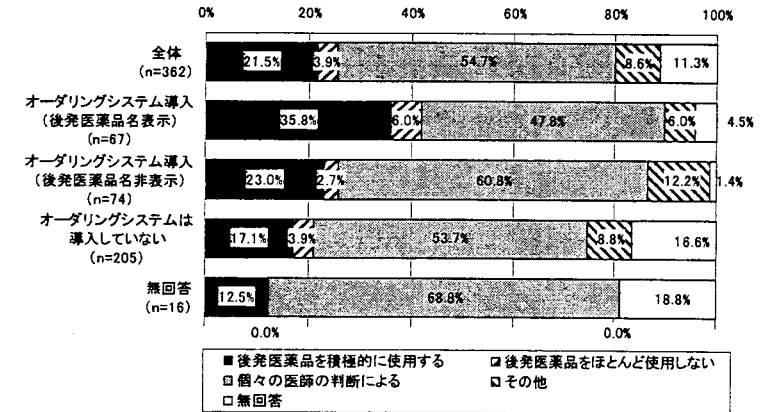
4) 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針

図表 98 病院における後発医薬品の使用について、  
外来患者に院外処方する場合の施設としての対応



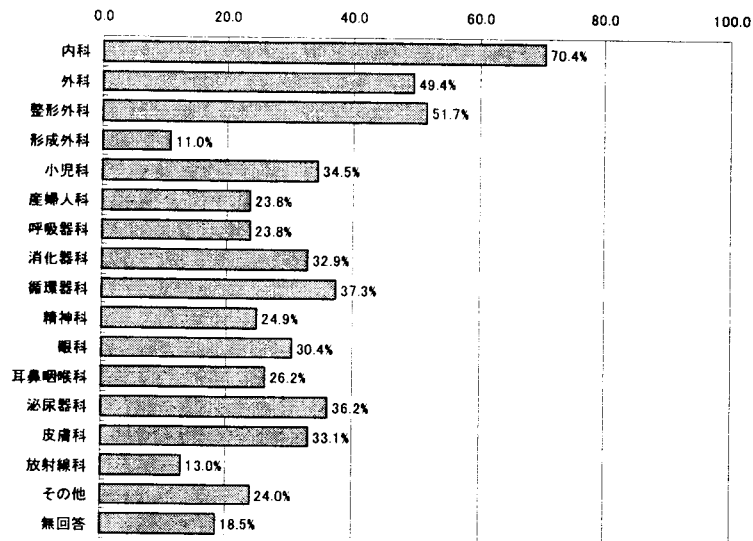
※「後発医薬品を積極的に使用」とは、後発医薬品の銘柄処方のほか、院外処方せんへの「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含む。

図表 99 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応（オーダーリングシステム導入別）

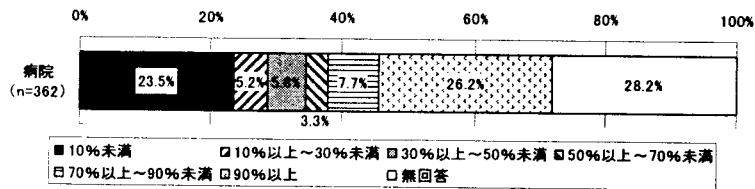


5) 病院における院外処方せんを発行している診療科

図表 100 病院における院外処方せんを発行している診療科（複数回答、n=362）



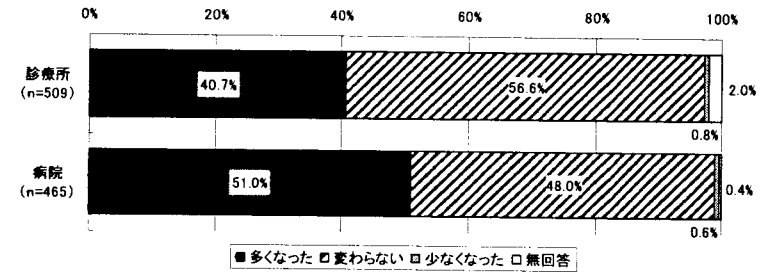
図表 101 病院における、院外処方せんのうち後発医薬品を銘柄指定した処方せんまたは「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をしなかった処方せんの割合（平成 21 年 7 月 1 か月間）



※無回答が多いのは、院外処方せんを発行していない医療機関が含まれているため。

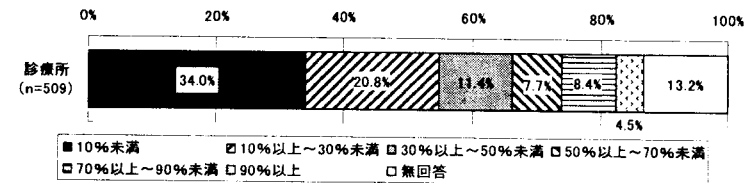
6) 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）

図表 102 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）（医師ベース）



7) 院外処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定した処方せんの発行状況

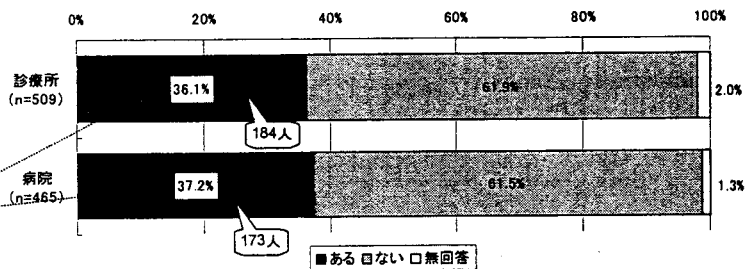
図表 103 診療所における、院外処方せんのうち後発医薬品を銘柄指定した処方せんの割合（医師ベース、平成 21 年 7 月 1 か月間）



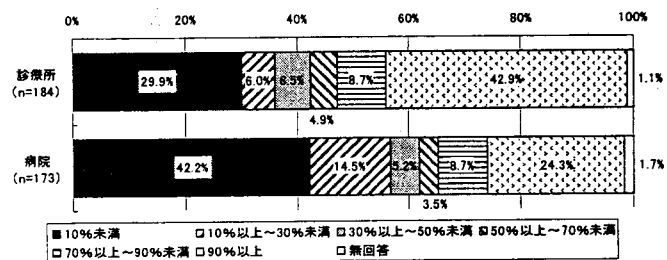


8) 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんの発行経験等（平成21年4月以降）

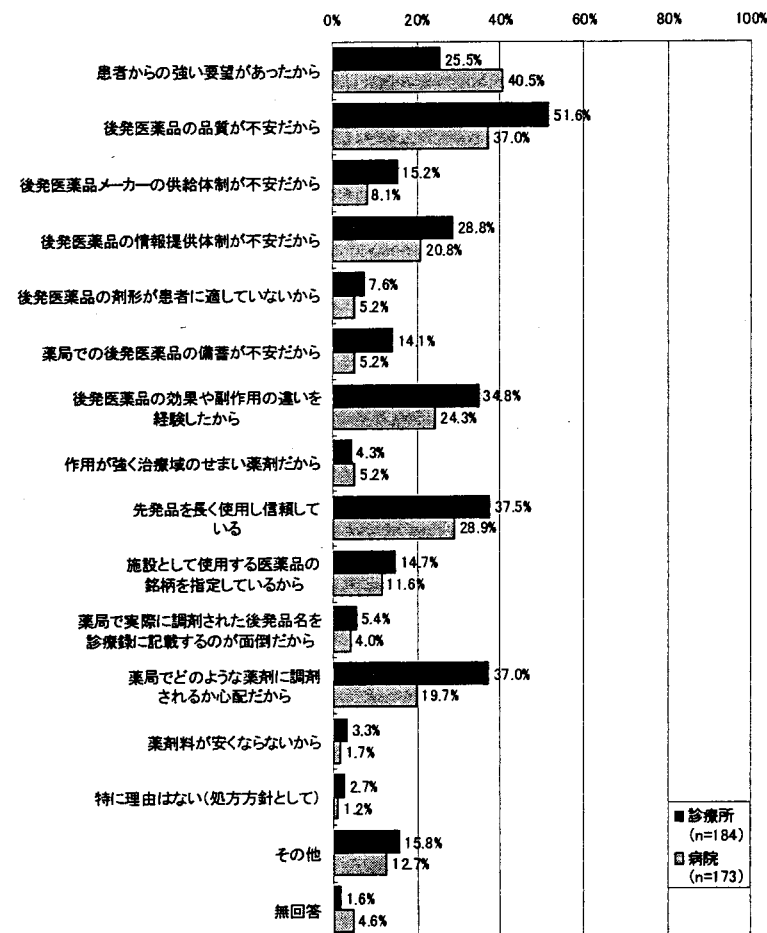
図表 104 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんの発行経験の有無（医師ベース）



図表 105 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名した処方せん枚数の割合（医師ベース）

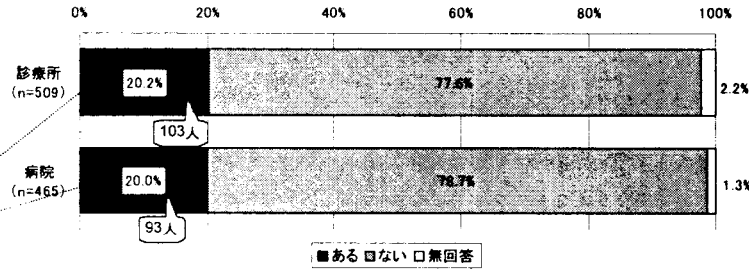


図表 106 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した理由（医師ベース、複数回答）

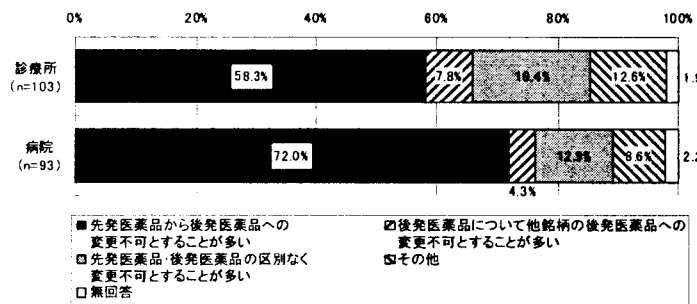


9) 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した処方せんの発行経緯  
(平成 21 年 4 月以降)

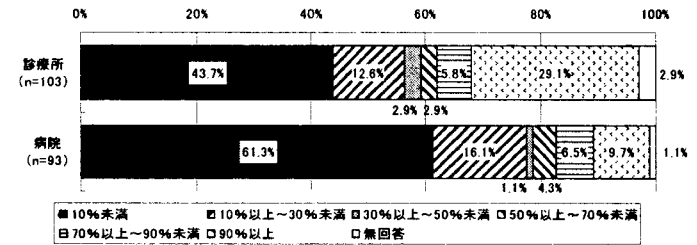
図表 107 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した  
処方せんの発行の有無 (医師ベース)



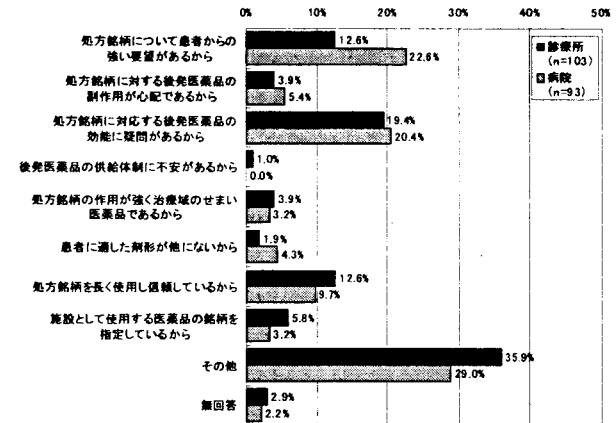
図表 108 一部の医薬品について後発医薬品への「変更不可」とするケースで  
最も多いもの (医師ベース)



図表 109 院外処方せん枚数全体に占める、一部の医薬品について「変更不可」と  
記載した処方せん枚数の割合 (医師ベース)



図表 110 一部の医薬品について「変更不可」とする最も多い理由 (医師ベース、単数回答)

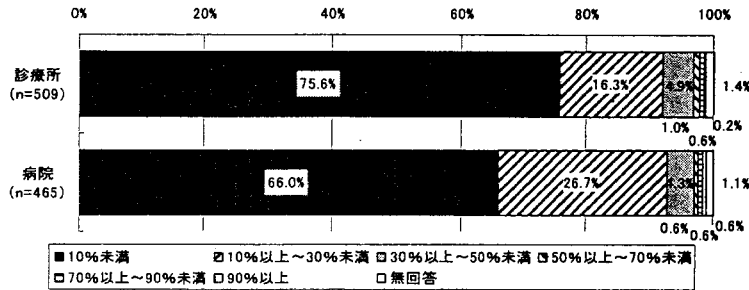


※「その他」には、複数の選択肢に○がついている回答が含まれる。その他の内容は以下のとおりである。

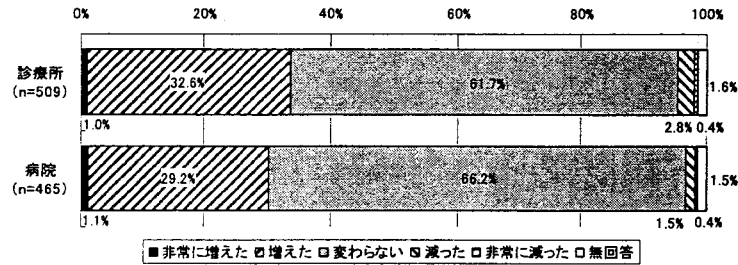
	診療所	病院
「その他」を選択した回答数	37	27
患者からの強い要望があるから	8	3
副作用が心配であるから	14	1
機能に疑問があるから	19	4
供給体制に不安があるから	5	2
作用が強く治療域のせまい医薬品	2	1
患者に適した剤形が他にないから	6	0
長く使用し信頼しているから	11	3
銘柄を指定している	8	0
先発医薬品と後発医薬品の値段に違いがないから	-	1
薬局で実際に調剤された後発医薬品を診療録に記載するのが面倒だから	-	1
効果が安定している前処方をそのままにしたため	-	1
後発医薬品に適応がなかったから	4	3
院外処方をしていない	-	3
その他	4	2
未記入	4	10

10) 後発医薬品について関心がある患者の割合（平成 21 年 4 月以降）

図表 111 外来患者のうち、後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者の割合（医師ベース）

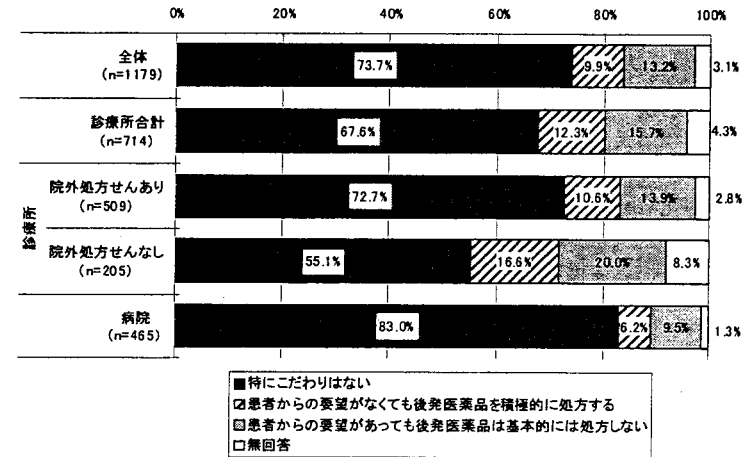


図表 112 後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者数の変化（1年前と比較して、医師ベース）

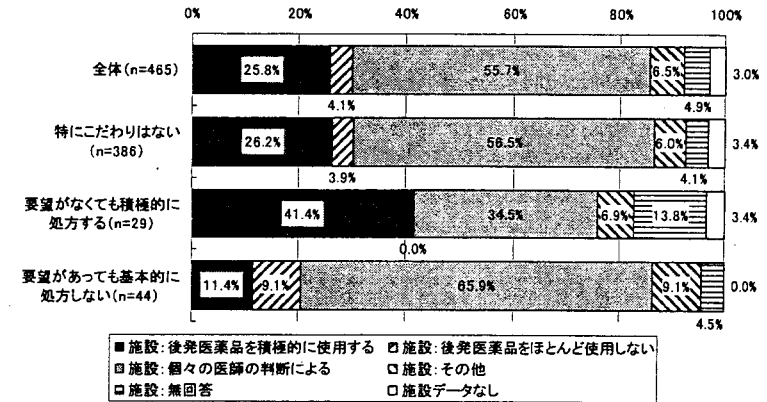


11) 医師における、外来診療時の後発医薬品の処方に関する考え

図表 113 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え方（医師ベース）



図表 114 医師の外来診療における後発医薬品の処方に関する考え方（外来患者に後発医薬品を院外処方する場合の施設としての対応別、病院ベース）



※全体には「外来診療における医師の後発医薬品処方に関する考え方」が無回答だった6名が含まれる。